

眞木瓜ヲ以テモケト云シナルベシ、サレド今ノ俗^{サシ}檍子ト云物ヲヨビテ、ボケト云フ、若シ此ナラ
ハシ、昔ヨリノ事ナランニハ、順朝臣ノ云シ所モ、檍子ヲモテ、モケト云シモ知レズ、又今俗ニ木瓜
ヲ以テカラボケト云コトハ、世人檍子ヲモテ、ボケトイヘバ、ソレニワカツベキ爲ニ、カクハイヘ
ルナルベシ、モケト云ハスナハチ木瓜ノ二字、吳音ヲ以テヨビシ也、ソノ後俗ニガケト云シモ、木
醫家ニモツクウト云ハ、二字又吳漢ノ音ヲ用ヒシモノ也、ソレヲ又
クワノ倭名ヲ、モケトモボケトモ云トノミ心エシハヨカラジ、サレド今カラボケト云物ハ、異朝
ニ所謂木瓜ノ大ナル物ニテアル也、本草衍義ニ、大木瓜ト云ハコレナルベシ、近キ比ホヒ大明ノ
人朱魯興ニ木瓜ノ事ヲ問シニ、今俗ニマルメロトイフモノヲ指テ木瓜也トハ云キ、云ハルメロト
テアル也、此モノ昔ヨリ我國ニアリシヲ、番人ノ見テナガクニニテヨブトコロナモテ、此人格
カク呼シニヤ、又番人ノモテ來シヨリ、此國ニハアルモノニヤ、未ダツマビラカナラズ、此人格
物ノ君子ニテ、大明ノ代ノ末ノ亂ヲ避テ、番國ニノガレ、其後我朝ニ來リトマレリ、サレバ獨異
朝ノ事ニ委キノミニアラズ、番國ノ事ヲモヨク知レル人也、其說アヤマルベカラズ、且ハ今異朝
ノ諸書ヲ考フルニ、マルメロト云モノハ、彼國ノ書ニ見エシ、木瓜ノ注ニ違フ所ナシ、サラバ我朝
ノ諸儒マルメロノ外ニ、カラボケト云モノヲモテ、眞木瓜トノミ思ヘルハアヤマレルナルベシ、
〔大和本草十二〕木瓜 ボケハモクハノ轉語ナリ、本邦ノボケ數種アリ、寒木瓜花小ニシテ紅ナ
リ、帶黃色有實、淀木瓜、花紅ニシテ美シ無實、白木瓜葉初生時色鮮綠、長春木瓜、一月ヨリ花開春夏
有花、唯秋無花、十二月正月花尤ヨシ、花紅ナリ、カラボケ、花初白ク中比淡紅後深紅、八重ボケアリ、
草ボケ、高一二尺野ニ多シ、花赤色木ニ刺アリ、果小シ、武藏野ニシドミト云、草木瓜アリ、其實ノ大
サ肥後梅ホドアリ、土民其醋ヲ用ユ、楨檍ニ葉モ實モ同ジクシテ甚小也、種木ノ形梨ニ似タリ、高
大ナルハ丈許、大抵六七尺、刺アリトイヘドモマレナリ、其實木瓜ヨリ頗大ナリ、又一種花大ニ紅
白二色アリ、實モ右二種ヨリ大ナリ、刺多シ、山州鷹峯ニアリ、猶品類多シ、不可窮盡、凡木瓜ノ花盛
久シ、可愛木瓜ノスヲ鰻鱺ニカクレバ甚大ニナル、木瓜トウナギト同食スベカラズ、